

■（70）大学入試問題に挑戦

2014. 2. 7

大学入試センター試験が1月18日（土）、19日（日）にあり、いよいよ受験シーズン本番です。センター試験の問題と解答は、翌日の新聞に掲載されています。大学入試といえば、小・中学生には無縁のものと考えがちですが、解けそうな問題もあります。

今年の国語の第1問では、問1が「傍線部（ア）～（オ）に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ」という問題で、そのうち（ア）は以下の通りでした。

- （ア） ボウヨミ
- ①生活がキュウボウする
 - ②お調子者にツウボウを食らわす
 - ③人口のボウチョウを抑える政策
 - ④ムボウな計画を批判する
 - ⑤国家のソンボウにかかわる

ボウヨミのボウは「棒」です。①～⑤それぞれのカタカナ部分は①窮乏②痛棒③膨張④無謀⑤存亡で、すべて小・中学校で習う漢字です。「痛棒」という言葉は難しいですが、①③④⑤は分かりやすいので、消去法で問題の解答は見つかるでしょう。もちろん、まだ学習していない言葉や漢字に挑戦するのも、学びとしては大事なことです。

日本史Bでは、手塚治虫さんの『紙の砦』という漫画の数コマを示したり、『ぼくはマンガ家』という文章の一部から出題されたりしました。かつては、「ののちゃん」の一コマの吹き出しにセリフを入れる問題もありました。

これから、公立高校入試の問題なども新聞に掲載されますが、小・中・高校と学んだことの積み重ねが大学入試でもありますので、今、しっかりと学習することの大切さを子どもたちに認識させたいものです。

（鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問）